

みらいづくり大学 青葉キャンパス

あおば魅力でつながる講座

～本で始める・広げる・楽しむ～

令和3年度
報告書



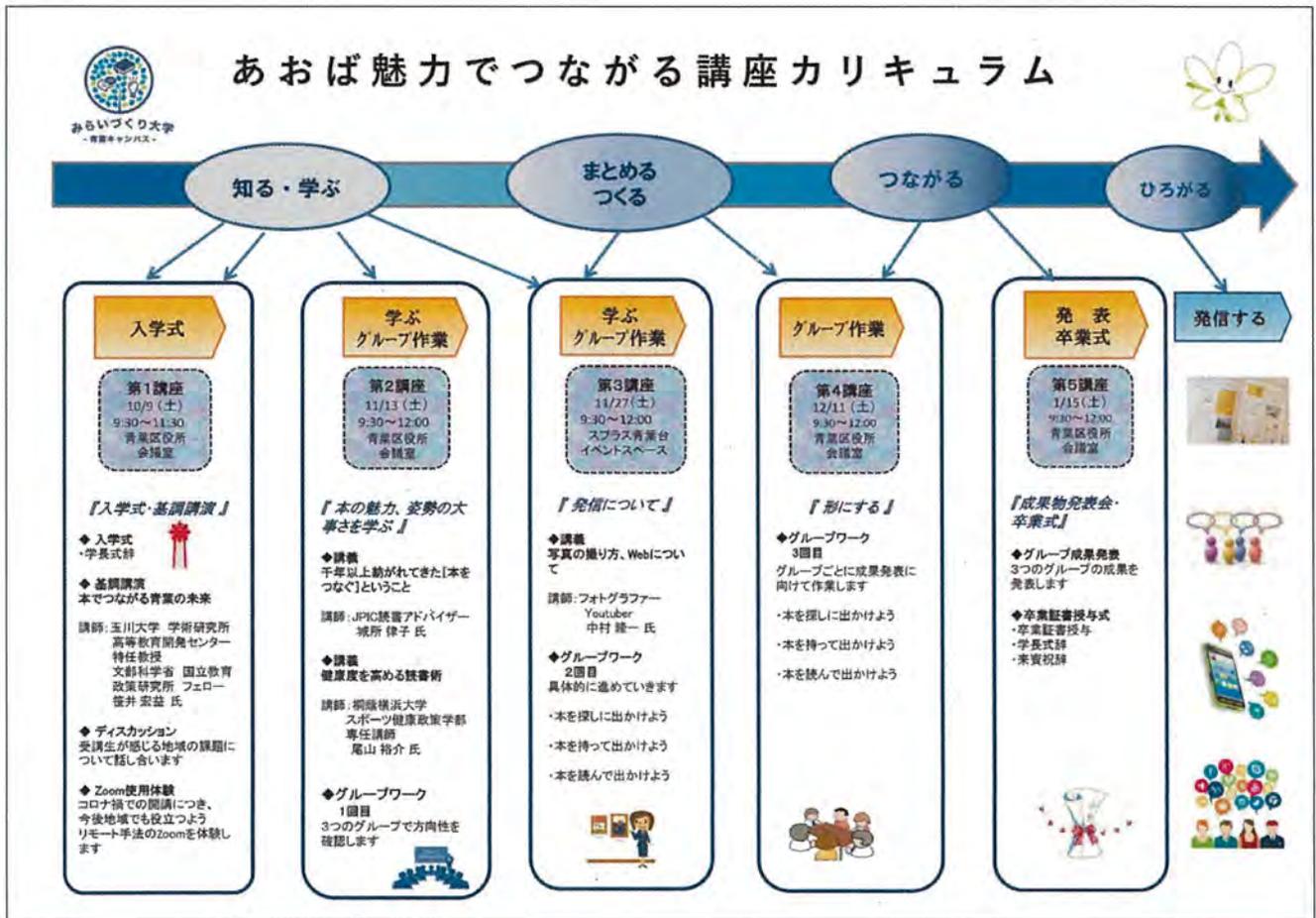
主催：NPO法人あおば学校支援ネットワーク、青葉区役所
協力：青葉区連合自治会長会、みらいづくり大学OB会

みらいづくり大学青葉キャンパスは、地域活動を活性化し、地域における課題解決を推進する担い手の育成を目的に、地域の皆さんが参加する「学びと成長の場」です。



<令和3年度は>

地域の課題を『知り』
本をテーマに魅力や可能性を『探し』
情報のさまざまな発信方法を『学び』
地域の『つながりを強めること』を目指します。



学長 関根 宏一

青葉区連合自治会会長 会長
「孫の代まで誇れるようなまちづくり
をしていきたい」と、50代から自治
会会長を務め、奈良町連合自治会
の会長としても14年目となりまし
た。青葉区の魅力を
全国に発信していく
ために、日々、様々
な地域を支える活動
に取り組んでいます。



アドバイザー 笹井 宏益 玉川大学 学術研究所高等教育開発センター 特任教授 文部科学省 国立教育政策研究所 フェロー



地域づくりのための社会教育を中心に、幅広く生涯学習の研究をしていま
す。特に近年は、ボランティアやNPO、若者や高齢者の社会参加に焦点
を当て、市内各地をめぐって調査研究活動に取り組んでいます。

コーディネーター 竹本 靖代 NPO法人あおば学校支援ネットワーク 理事長



学校のキャリア教育や各教科におけるプログラムやボランティアのコーディネート、
体験活動や居場所づくり、世代間交流を通じた青少年の育成、講座・フォー
ラムなどの事業を行っています。

～知る～ 第1講座 入学式・基調講演

10月9日(土)9:30～12:00 青葉区役所4階会議室

入学式



講座はみらいづくり大学青葉キャンパスの入学式から始まります。学長である青葉区連合自治会長の関根会長、そして副学長の小澤青葉区長から、地域の皆さんへの期待をこめた挨拶がありました。



なお、今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、受講人数を削減し、感染対策に配慮しながら開講します。

基調講演 『本でつながる青葉の未来』 玉川大学 学術研究所 特任教授 笹井 宏益氏



地域づくりにおいて、従来は、マイナスイテム事項の共有から地域課題の解決に取り組む考え方であったが、この時代になって価値観が多様化したことから、芸術の文化的価値など楽しいことの共有が地域づくりになっていること、特に本は話題を共有し人を結びつけるツールとなることをお話いただきました。



また、事例として、メッセージを付けた本を持ち寄って人と出会おうという活動の『まちライブラリー』、地域の活性化を目指す取組が多彩な『千代田図書館』、より深く地元のことを知ってもらい、“知”にあふれる未来の川越を目指す『學のまちkawagoe』などが紹介されました。いずれも興味深い取組として、受講生の印象に残りました。

Zoom 体験

緊急事態宣言発出時などに、講義の視聴やグループワークの話し合いをオンラインで行うことも想定し、今年度は Zoom の使い方を学ぶ講座を希望者向けに追加しました。

オンラインの場合も、会議室の予約をしたり、参加者に開催のお知らせをして、予定日時に会議室に集まるという、対面の会議と同じ手順を進めることを学んでから、招待された会議室に入る方法を試しました。操作に慣れている大学生が個別に指導しながら接続を試み、画面越しの会話に挑戦しました。グループの打合せなどに使ってみたいという感想もあり、多くの方が熱心に取り組みました。



幸い、講座期間中にオンライン講義を行う事態は発生することなく、終了を迎えることができましたが、体験したことで、不慣れな方も新しいツールの活用に向けて少しながらも心理的ハードルを下げることであった体験講座でした。

～学ぶ～ 第2講座 講義、グループワーク

11月13日(土)9:30～12:00 青葉区役所4階会議室

講義 『千年以上紡がれてきた[本をつなぐ]ということ』 JPIC 読書アドバイザー 城所 律子氏



縦糸と横糸が織りなすように、何百年もの時の流れを超えて情報をつなぎ、同じ時の中で人々をつなげる力を持つ本についてお聞きしたり、読み聞かせなどの活動の一端を見せていただいたりして、講師のお話の世界に引き込まれました。青い洋服を描いた大きな紙はお話とともに折りたたまれて、洋服は裾や袖を切ったりリフォームされた形になっていきます。次はどうなるのだろうと子どもたちの自由な発想を引き出すお話は大人にも楽しいものでした。本をきっかけにしたつながりづくりのグループワークの際に思い出したいヒントがいくつもありました。

受講生からは、「本の面白さと読んだ人の気持ちの共有がすてきだと思った。」「書物を通してのふれ合いや連帯感の醸成が向上される事が大切で、その為の地域的的努力が必要と痛感した。」等の感想が寄せられました。

講義 『健康度を高める読書術』 桐蔭横浜大学 専任講師 尾山 裕介氏



健康度に及ぼす読書の効果や、読書をする際の姿勢について伺いました。1日30分の読書で12年後の死亡率が23%低下、週1回以上の読書で6年後の認知症リスクが25%以上低下など、思いもなかったデータに、受講生一同驚きました。

塩分の摂取が多く、喫煙率も高い傾向にある山梨県民の健康寿命が長い理由は、人口10万人に対する図書館数が全国第1位で、読みたい本を探して歩くことや知的好奇心がよい影響を与えていることがあげられるそうです。この情報は、グループでの取組に大いに参考になりました。

自分に適した椅子と机の高さを計算中！

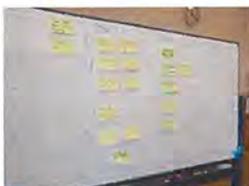
【椅子の高さ】身長×0.25-(0~2)cm

【机の高さ】身長×0.25-(0~2)cm + 身長×0.183-(0~2)cm

*身長160cmの場合、椅子は40~42cm、机は69~71cmが適正



グループワーク



まず初めに、身近な現状についての話し合いから、コロナ禍でつながりが希薄になっていることを再認識しました。閉じこもりがちな生活において、本をきっかけに外へ出たり、活動につながるようなグループの取組を考えていくこととし、受講生は3グループに分かれて、それぞれ本をきっかけにした少しずつ異なるテーマで活動を進めていきます。



Aグループ
「本を探しに出かけよう」



Bグループ
「本を持って出かけよう」



Cグループ
「本を読んで出かけよう」

～学ぶ・まとめる～ 第3講座 講義、グループワーク

11月27日(土)9:30～12:00 スプラス青葉台

講義『写真の撮り方、Webについて』 フォトグラファー、Youtuber 中村 隆一氏



グループの取組で区民へ働きかけるツールの一つとして、写真などが与える影響を知り、より効果的な発信方法を学びました。プロならではの構図に数多く触れる中で、空間の活かし方で見栄えが大きく変わることが分かり、道具は変えなくても成果物の作成時に活かせるようなヒントを得ることができた講義でした。

また、各グループが動画の活用を検討するモチベーションに大きな影響がありました。



グループワーク

前回のグループワークで出し合った案に必要な情報を持ち寄って2回目のグループワークの時間を持ち、熱心な話し合いが行われました。それぞれ取り上げるエリアは、荇子田・すすき野、市ケ尾、鉄と異なる地で決まり、いよいよ地域での調査や撮影に入ります。



自主活動中 I

12月2日 Aグループ 荇子田・すすき野エリア調査



11月22日 Cグループ 打合せ
調査対象検討



12月2日 Cグループ
鉄小学校郷土資料館訪問
鉄古典獅子舞の情報収集



12月9日 Cグループ
鉄古典獅子舞保存会訪問



～つくる～ 第4講座 グループワーク

12月11日(土)9:30~12:00 青葉区役所4階会議室

グループワーク

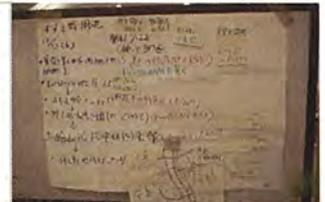
事前調査資料や写真、動画などを持ち寄り、各グループとも積極的な姿勢で取り組んでいます。

第2講座で講義をいただいた尾山先生には、アドバイスをいただいたり、屋外撮影にご同行いただいたりして、各グループの取組みがブラッシュアップされました。



【Aグループ「本を探しに出かけよう」】

荏子田・すすき野エリアの本のある場所を事前に巡り、動画撮影を兼ねた調査を行いました。本を探しながらの散策が楽しめるように、マップに美味しいパン屋さんなど本以外の情報も盛り込んで作っています。



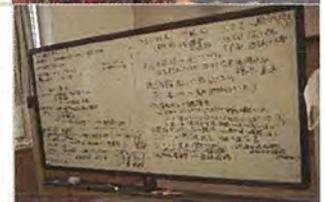
【Bグループ「本を持って出かけよう」】

講座日は晴天に恵まれ、かつ取り上げたエリアが区役所周辺のため、講座の時間を利用して撮影に出かけました。Bグループのメンバーが出演、撮影、演出など全てを担い、読書する様子を動画に収めています。



【Cグループ「本を読んで出かけよう」】

鉄古典獅子舞保存会の方々にヒアリング調査をさせていただき、貴重な資料や情報がさらに増えました。これらをどのような形にして発信するか、アイデアが多く出ています。



自主活動中Ⅱ

12月15日 Bグループ
あおばコミュニティ・テラス訪問



12月18日
Aグループ
ナレーション録音

12月18日
Bグループ 動画編集



12月18日
Cグループ
獅子舞動画視聴

～ひろがる～ 展示発表 1月11日(火)~14日(金) 青葉区役所ロビー

発信ツールの1つとして、区役所ロビーでの展示を企画したCグループを中心に、A・Bグループも加わって一緒にロビー展示を行いました。パネルの他、鉄古典獅子舞の楽器「ささら」を手作りして展示したり、デジタルサイネージで動画を流したり、配布物も用意して区役所を訪れた方々に青葉区の魅力とつながりの情報を届けることができました。



Aグループ 設営・デジタルサイネージ



Bグループ 展示



Cグループ 設営



足をとめて見る
区民の皆さん

～つながる～ 実践 (Aグループ) 本を探しに出かけよう

「本を探しに出かけよう」グループは、図書館以外にも区内に多くある本のある場所を探したり訪れたりして、地域探索や、それぞれの場所に集められた本を楽しみます。目的地へ向かう途中でパン屋さんに立ち寄りたり、歴史に触れたりして、地域を楽しむ中に本がある生活をメッセージに掲げました。

2021年みらいづくり大学
《本を探しに出かけました》 2021年12月2日 10時～14時

《美しが丘西地区センター》

蔵書約1万冊、山内図書館の蔵書を此処で借りる事も出来る。蔵書担当の方は、利用者との交流を通して購入蔵書の進捗に注意を絞る。昼休みのスタンパリーでは、蔵書の紹介前に担当者に種別や状態を口頭で伝えてポイントをゲット、双方に良い刺激となる企画と楽しみました。



《丘の上のパン屋》

地区センターから5分ほど遠くに丹沢山系も望める文字通り丘の上にあるパン屋さん。イートインが楽しめる地元人気のパン屋さんでした。

《すすきコミュニティハウス》



すすき野中学校内に設置されたコミュニティハウス。カラーコピーで知らせてくれる新規購入書籍のリストは、思わず読んでみたくなる知的好奇心を喚起させる不思議な魅力が。



《荇子田太陽公園》

荇子田太陽公園と言えは素敵な公園で有名だが、地元の長年の努力が結実し『ローズハウス』が完成。子育てサロン「えこころん」の絵本読み聞かせ等、子育て関連を初め多くの企画が目玉を集めています。

担当アドバイザー・荇子田さんにお話しを聞きました。

《横山小学校市民図書室》



横山小学校内の市民図書室。小学校の図書室とは別に、市民の為に開かれた図書室。小学校の安全確保の観点から、入り口で来館希望と伝え開館してもらうなど、慣れるまでは敷居が高く感じられるかも。送られた予算の中で、市民の希望図書を購入したり、市民の寄贈など、多様な方法で蔵書を確保し、地元市民に親しまれている。マニアックな雑誌を発見！



《すすき野地域ケアプラザ》

横浜市独自の施設《地域ケアプラザ》には「地域活動交流」「地域包括支援」「生活支援体制整備」「介護予防支援」の4つの機能が。ケアと聞くと高齢者専用施設か？と勘違いしそゆめ、地域のネットワークづくりなど、多方面の担い手エリア内には12の地域ケアプラザがあります。土屋さんでした。

本を探しに出かけた様子は、紙面の他、動画でもまとめました。荇子田ローズハウスの訪問時には、第2講座講師の城所さんに蔵書や施設の機能についてご説明をいただきました。

各所の説明で動画に収める音声は、訪問先でお願いした他、受講生が交代でナレーションをしました。動画作成は手順を調べるところから始め、アドバイスを受けつつも自力で完成に至った力作です。



区役所のエレベーター横にあるデジタルサイネージに映した動画は、区役所を訪れた多くの人の目にとまりました。講座終了後は、横浜市のYouTubeにもアップして、より多くの人に見ていただけるようにしました。

みらいづくり大学 賢客キャンパス
あおば魅力でつながる講座～本を探しに出かけよう！～



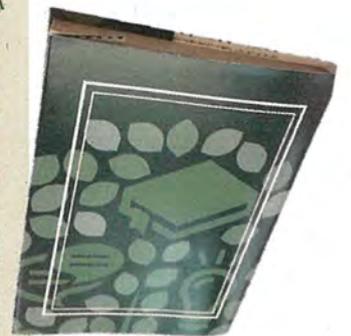
～つながる～ 実践 (Bグループ) 本を持って出かけよう

「本を持って出かけよう」グループは、読書の場を外に求めて情報収集や発信をします。図書館のほかにも、喫茶店や施設、また気候のよい季節には屋外など、読書を楽しむ場所は、身近なところにたくさんあることを発見しました。情報の発信にも工夫をして、アナログとデジタルを連携させた取り組みになりました。

本を持って出かけるエリアを市が尾駅から青葉区役所までの経路やその周辺とし、実際に訪問して読書する様子を撮影しました。動画は、横浜市の YouTube のチャンネルに登録し、視聴数を伸ばしています。



撮影箇所はマップにして、ダイレクトに動画が見られるように個別のQRコードを掲載しました。また、ブックカバーにできるデザインにして、本と一緒にマップを持ち歩ける工夫をしました。



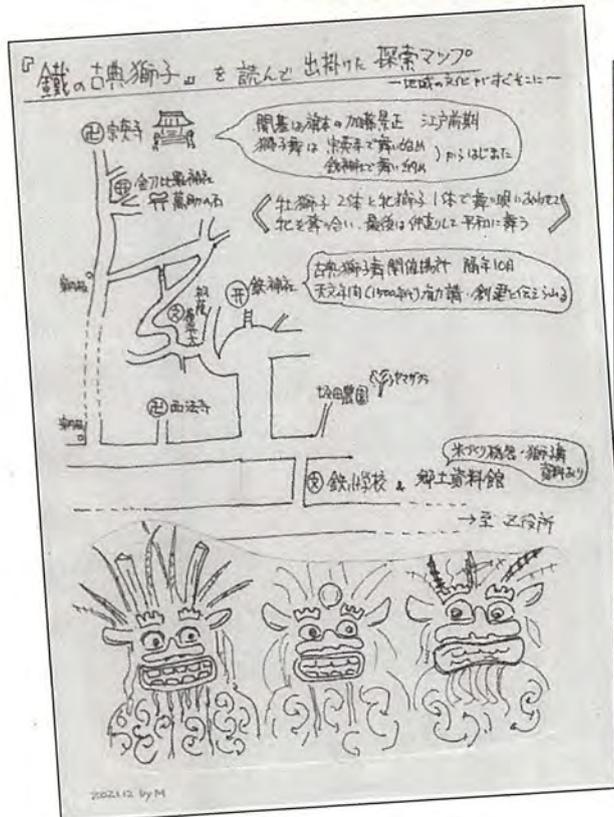
～つながる～ 実践 (Cグループ) 本を読んで出かけよう

「本を読んで出かけよう」グループは、読んだ本の情報をもとに、ゆかりの地を訪れて理解を深めたり、散策を楽しんだり、人とつながったりすることに取り組みます。区内の神社仏閣からテーマを絞り込んで、鉄神社に奉納する「鉄古典獅子舞」の本やDVDなどを探すことから始め、最後は多くの人とつながる取組となりました。

初めの1冊は、「鉄の古典獅子」
鈴木勇／編 1991年
鉄の獅子舞の沿革、獅子頭及び獅子舞の特徴、構成、道具、衣装、獅子舞の記録、舞唄の歌詞、楽譜などが掲載されています。

資料を調べる過程で、郷土資料館、神社、自治会、保存会など様々な関係各所とつながりができ、獅子舞保存会のメンバーの方々にヒアリング調査をさせていただくことができました。貴重な資料を見せていただいております。大変興味深い多くのことを知ることができました。

学んだことを発信するツールのひとつとして受講生作の川柳とイラストをデザインしたシールを作成しました。シールは、マスクの個包装やポケットティッシュに貼り付け、区民に活動の一端と地域文化の情報を広げることに活用しました。



Cグループ 「本を読んで出かけよう」

鉄の獅子舞についてはくがね倶楽部発行のA4107シートを参照下さい。

このコーナーでは平成17年1月に神奈川県立歴史博物館により開催された「かながわの三匹獅子舞-獅子頭の世界」の展示資料から専門学芸員による解説を紹介させていただきます。神奈川県には14の三匹獅子舞が認定されています。

現在は廃絶し、中絶して10ヶ所が現存している。詳細は「神奈川県下の三匹獅子舞分布図」を閲覧下さい。獅子頭の肉體に年代の記述がみられることがあるが、14の中絶室(107-110)、元禄(1688-1703)享保(1716-1735)等の年号が見える。

上鉄村の三匹獅子舞が開始したのは慶長10年(1603)悪疫退散のためである。平塚市郡島屋は雨乞いも獅子舞で行われていた。祭表の足解は、農作物の豊作、家田安産や開運、招福の意を込めて舞うものと考えられる。その意味では除災招福、復讐の守護神である道祖神に通ずるものがある。三匹獅子舞が祭礼の中に定着したのはその伴奏が茶囃子と同じであるからと言われている。地域の保存会やお囃子連と共に活動している。

巻末には近世期三匹獅子頭一覽が載っている。461枚の内訳は関東37、東北9である。東北への伝播は関東領主の東北への転封によるものらしい。

本日はシ米塩有難うございす。



本や聞き取り調査で調べたことや、周辺のゆかりの寺院を散策マップにまとめるなどして、区役所ロビーでの展示で発表しました。獅子舞で使う楽器「ささら」を手作りして展示したり、獅子舞のイラストのシールを貼ったマスクの配布など、多彩な内容で足をとめて見ていただけた人が増えました。

楽器「ささら」

～つながる・ひろがる～ 第5講座 成果発表・卒業式

1月15日(土) 9:30～11:00 青葉区役所4階会議室

成果発表

Aグループ 本を探しに出かけよう

本を探しに出かけて集めた情報は紙面と動画の2種類でまとめました。区役所のエレベーター横にあるデジタルサイネージを利用して発信した動画は、区役所を訪れた多くの人の目にとまりました。講座終了後に、横浜市のYouTubeにもアップしました。



Bグループ 本を持って出かけよう

老若男女のグループで、市ヶ尾エリアの読書が似合う場所を探して動画を作成しました。動画は横浜市のYouTubeにあげて、視聴回数を増やしています。マップ印刷の折にブックカバーとしても活用できるアイデアが出て、工夫にとんだ成果物を作成することができました。



Cグループ 本を読んで出かけよう

鉄古典獅子舞の本から始まり、保存会の方々との交流で得られた情報を、古典獅子舞の由来や地域文化への関心向上の視点で集約し、展示と配布物を活用して区民に発信しました。活動の様子を収めて成果発表で提示した動画は、地域での活動報告にも活用します。クラリネット演奏による獅子舞の舞唄を披露し、多彩な活動を締めくくりました。



講評



卒業証書授与式

コロナ禍にもかかわらず、工夫してやり遂げた成果は、大きな評価をいただくことができ、各グループによる成果発表をもって講座のプログラムは修了となりました。

卒業証書授与式では、学長が一人一人に卒業証書を授与し、10名は皆勤賞の表彰も受けました。卒業後の地域でのご活躍を期待します。



授与式終了後は、卒業後の活動としてOB会のお誘いをしたり、会場に再現した展示の他グループの取組を見たりして、感想を述べあいました。

講評 玉川大学 学術研究所 高等教育開発センター 教授 笹井 宏益

みらいづくり大学青葉キャンパスは、青葉区の魅力の発見や発信、また魅力づくりに関する実践的な取り組みをとおして、区民同士のつながりをつくり、地域活動に役立つ知識やスキルを習得してもらおうという趣旨で設けられた「学びの場」である。

7回目となる本年度は、「本」や「図書スペース」をテーマにして、「本を探しに出かけよう」「本を持って出かけよう」「本を読んで出かけよう」という3つのグループに分かれて活動が展開された。「本を探しに出かけよう」グループは、図書館以外に本と出会う場所を探し、それをもとにマップや動画を作成し、Youtubeなどで発信した。また「本を持って出かけよう」グループは、本や読書の光景がよく似合う場所を探し、それをもとにQRコード付きのブックカバーや動画を作成して、Youtubeなどで発信した。さらに「本を読んで出かけよう」グループは、古典獅子舞など鉄(くろがね)地域の歴史的な魅力を聞き取り調査などで収集し、それをもとにシールやマップを作成して配布した。このように、各グループとも、コロナ禍という厳しい状況ではあったものの、くまなく地域を歩き、人々とふれあい、そうして得た学びの成果を最新のメディアを使って発信していることには、感心するばかりである。数々の創意工夫を凝らした活動によって大きな成果を上げられたことに対して、心より敬意を表したい。

